

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上里小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、学力向上をはかる。 令和5年度全国学力・学習状況調査(国語)で、令和4年度より自校の平均正答率を3pt向上させる。	⇒ 既習事項の振り返りや学習内容を活用・把握したり、読む経験を重ねたりすることができる学習活動の工夫を行う。 また、業前活動の取組と連携させ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
思考・判断・表現	令和5年度全国学力・学習状況調査(国語)「思考力・判断力・表現力」で令和4年度より自校の平均正答率を3pt向上させる。	⇒ 思考を可視化して、表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。 語彙表「ことばのたね」を活用し、語彙力・表現力を高める。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和4年度の値より3pt向上させた値にする。	⇒ 児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。 家庭学習のリーフレットを配布し、月末に振り返りを行い、内容や時間を改善する。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当)	
思考・判断・表現	③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析		
知識・技能	全国の平均正答率と比べて、国語と算数ともに、下回る結果となり、課題がみつかった。教科ごとに全国の平均正答率と比較してみると、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」は-5.7、「情報の扱い方に関する事項」は-0.7、算数は-3.1という結果であった。国語については、漢字の学習に課題がみられるので、繰り返したり積み重ねたりできる学習を行うようにしていく。算数では、「図形」の問題で全国平均正答率とほぼ同じ数値となったが、昨年度と同様、短答式の問題で課題がみられた。	
思考・判断・表現	国語では、特に「読むこと」について、全国の平均正答率を上回った。また、「算数(データの活用)」については、複合問題に課題がみられ、問題の趣旨を読み取り、適切に選択することが今後の課題としてあげられる。さらに、国語と算数において、記述式の問題において全国と比較しても無解答率が高いので、問題を見比べたり見通しをもって取り組んだりして、できそうな問題から取り組むなどの方策を行っていく。	
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習調査の学校質問紙による調査では、「〇〇の勉強は好きですか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合は、国語と算数ともに、県・全国の平均を上回っている。引き続き授業改善に励み、さいたま市学習状況調査の際に、前年度から比較してさらに値を向上できるよう、より一層、子ども主体となるような学習活動の工夫に努める。	

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし